

災害時の日本語を考える ～ 人間を支える「ことば」とは ～

徳島大学総合科学部 教授
村上 敬一

総合科学部公開セミナーは、一般の方や大学生、高校生を対象とした参加費無料の市民講座です。総合科学部の教員が、得意なテーマについて、わかりやすく語ります。

第18回は、総合科学部 村上敬一教授が、地域方言研究を通じた高大連携、地域交流について発表した後に「災害時の日本語を考える ～人間を支える「ことば」とは～」の演題でお話しします。

東日本大震災、熊本地震の際、現場の支援関係者と被災者とのコミュニケーションにおいて、支援者が方言を理解できないことによる問題がありました。その対策として「熊本支援方言プロジェクト」に関わった経験をふまえ、徳島県内でも同様の活動に取りかかりました。

今回のセミナーを通じて、南海トラフ大地震など災害時の備えとして、方言研究の立場からやるべきこと、備えておくべきことをみなさんと共有したいと考えています。

熊本県北部方言身体語彙



第18回：1月25日(金) 18:30～20:00

対象：一般・大学生・高校生 参加費無料

会場：総合科学部1号館南棟3階 第1会議室 事前申込が必要。駐車場の利用可。

詳細：総合科学部 HP <http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>

申込み・問い合わせ先：徳島大学総合科学部事務課総務係

TEL：088-656-9779 E-mail：sksoumks@tokushima-u.ac.jp